

# 下水道管路内作業の安全を確保

TGS・エビスマリン・イービストレード

ホールエアストリーマ

## 海外と初のライセンス契約

東京都下水道サービス（TGS）とエビスマリン、イービストレードの3者が開発した「ホールエアストリーマ（HAST- e）ライセンス（ハスティー）」について、台湾のノー・ディック社とライセンス契約を締結した。海外企業とホールエアストリー

マのライセンス契約を締結するのははじめて。契約期間は6月25日から3年間で、その後は1年ごとに更新する。6月25日にはTGS本社で契約調印式が行われ、技術支援を行うTGSの渡辺志津男社長、製造、販売を行うエビスマリンとイービ

ストレードの寺井良治社長が出席、ノー・ディック社の王宏宇社長はウェブ会議システムよりの台湾から参加した。ハスティーは下水道管

路内作業の安全性向上を目指して開発した新しい換気システム。マンホールの塞がずに大量の空気を連続して送風できるほか、送風中でも人の昇降や機材の搬入出が可能で、緊急時の避難が容易にできるという特長がある。これまで、日本国内での販売実績は約300台となっている。

この契約は台湾でのハスティーの販売、レンタル業務について、日本の共同開発3者がノー・ディック社にライセンスを与えるもの。また、ハスティーはエビスマリンの「ストリーマー技術」という流体力学に基づいた技術を活用し、2013年に世界初となる無翼扇型送風機として誕生。2018年から海外展開をはじめたところ、王社長が装置に興味を示し、高く評価してくれ、今回の契約に至ったという。

ノー・ディック社は台北市、新北市などでSPR工法などの下水道工事を手掛けている会社。王社長は「近年、下水道管内での酸素欠乏・硫化水素に関する事故が発生していた中、イービストレードの関係者からホールエアストリーマの紹介を受け、当社でも安全対策として利用できる」と考えた。今回の契約で、台湾のライセンスとなり、今後は台

湾の自治体にかにこの技術が効果的かを説明していく。ホールエアストリーマは日本で成功し、実績のある技術だ。日本チームと連携して、台湾での展開を成功させた。私はこの技術が台湾に根付くと確信している」と期待を込めた。

寺井社長は「世界初の他に類のない装置の販売となるため、初めて、無翼扇型送風機」に触れる台湾の顧客に対して、一番大切なことは信用と信頼を得ることだと思つた。この装置の開発にTGSが深く関与しているということや日本での導入事例を情報提供していく。今後販売展開を進める中で、台湾の下水道工事の事情に合わせた「台湾モデル」が必要になるかもしれないので、商品開発などもノー・ディック社と一緒に検討していきたい」と意気込む。

渡辺社長は「エアストリーマ（ハスティー）は、下水道の維持管理の安全を確保するために開発した真に必要な技術。今回の台湾への国際展開では、我々の培ってきた下水道維持管理の技術をもって、台湾の下水道作

業の安全性向上に貢献していきたいと考えている。今回の王社長との契約を足掛かりに、TGSが有する管路から処理場までの幅広い技術について、台湾に広く活用されることも強く期待している」と述べた。

※役職は当時



モニター越しの王社長を挟んで渡辺社長と寺井社長



ライセンス契約したハスティー

ライセンス契約したハスティー